

研究主題 「わたしメッセージ」で児童生徒に認識をもたらす道徳授業の試み

第5学年A組 道徳学習指導案

1 主題名

集団の一員としての役割に責任を持ち、積極的に努力や工夫をして果たそう。

高学年4－(1), 高学年1－(2) 社会的役割に自覚と責任を持ち、積極的に果たす。

2 資料名

「森の絵」 出典 光文書院

3 この資料でとらえさせたい認識

次の①～③を認識させる。

① 集団を維持していくためには、自分の役割に責任をもって果たさなければならない。

② 満足感や充実感を味わって自分の役割を果たすためには、努力や工夫を重ねながら主体的に働きかけることが大切である。

③ 自分のしたことが、集団を向上させるのに役立ったり、みんなに喜ばれたりすると、満足感や充実感が増し、もっとがんばろうという力が湧く。

4 この資料を選んだ理由

高学年となった子どもたちは、これまで運動会などの学校行事では、様々な役割を果たしてきた。また、学校行事に限らず、委員会活動の仕事にも日常的に取り組んでいるが、慣れてきたせいもあってか、徐々に仕事に対する熱心さが薄れている子どもが目立ってきた。アンケートの結果からも、自分の仕事に満足しながら取り組んでいる子どもは非常に少ないことが分かった。なぜ満足していないのかという問いには、「仕事が楽しくない」「面倒くさい」と答えた子どもが多数で、「やりたかった委員会ではない」と最初からやる気が持てなかった子どももいることがわかった。

委員会活動に限らず、集団生活を送る上では、様々な役割を分担し果たさなければならない場面が多くある。最近でも学習発表会での役割を分担したばかりであるが、希望が叶わず落ち込んでいる子どもも多い。だからといって、自分の役割を全く果たさなくてよいと考えている子どもは一人もおらず、決まったからにはやらなければいけないということの自覚はできているようである。自分の役割を果たすことは大切なことだとわかっている子どもたちであるが、今一つやる気が感じられないのは、それを果たすことからもたらされる満足感や喜びというものを十分に意識できていないからだと考える。

以上のような実態をふまえて、この資料を選んだ理由は次の通りである。

○ 学習発表会の成功や、自然教室での集団生活に向け、自分の役割を果たすことに対する新たな意欲を持つことができる。

○ 学習発表会の準備という場面設定なので、実際の自分たちの経験と重ねながら考えることができる。

○ はじめの主人公の役割に対する意識には、本学級の子どもの実態と共通するところがあるので、共感しながら考えを深め、認識につなげることができる。

○ 「自分がやらなければ成功しない。」と考えて取り組み、仕事がだんだん楽しくなっている「文男」の姿を見つめさせることで、自分たちにも同じような経験があることを思い出させることができる。

私は、子どもたちに、どうせ果たさなければならない役割なら、やってよかったという満足感を味わってほしい。自分がんばることで成功につながったり、工夫することで仕事にやりがいを感じたりすることができることをわかって、今後の生活に生かしてほしいと考えている。

5 本時のねらい

集団の一員として、自分の役割に責任をもち、創意工夫しながら主体的に果たすことが、集団の維持と向上、さらには自らの向上にもつながることに気付かせる。

6 日時

平成17年11月2日(水曜日) 5校時 福岡市立有田小学校 5年3組教室において

7 準備

- ・児童 … 読み物資料「森の絵」、道徳ノート
- ・教師 … 挿絵、写真

8 展開

| | | 学習活動 | 教師の支援 | 時 |
|------|-------|---|---|----|
| 導入 | 教える | <p>1 集団の中での自分の役割に対する考えを振り返る。</p> <p>○ これまでに、自分が希望する役割になれなかった経験はないか。そのような時に、やる気を持って取り組むことができたか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動 ・運動会 ・係活動 ・学習発表会 など </div> | <p>○ 自分の経験や思いを明らかにするため、また、友達の経験も把握できるように、色カードを用いる。</p> <p>◎ わたしメッセージ①’ 資料の中で教師が児童に何を認識させようとしているかについて語る</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p>一度受け持った役割や仕事は、責任を持って果たさなければならない。いやいやながら果たして終わらないように、満足感や喜びを味わうための考え方をわからせる。</p> </div> | 10 |
| | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>【めあて】 どんないやな役割でも、前向きに考えて工夫して果たしていこう。</p> </div> | | |
| 展開前段 | 考えさせる | <p>2 資料「森の絵」を読み、話し合う。</p> <p>(1) 仕事を始めてすぐのえり子の気持ちを話し合う。</p> <p>(2) 友達の姿を見て、えり子はどんなことがわかったのかを話し合う。</p> <p>① 道徳ノートに書く。</p> <p>② 全体で話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな仕事でもがんばらないとみんなが困る。 ・一人一人が役割を果たさないと成功しないんだ。 ・仕事は楽しくやったほうがいい。 ・みんなのために、自分もできることをがんばらないといけない。 </div> | <p>○ えり子のはじめの気持ちは、自分の経験とも共通していることを押さえながら考えさせる。</p> <p>○ えり子の心の変化を視覚的にとらえられるように、板書を工夫する。</p> <p>◎ わたしメッセージ②’ 認識の事実関係がどうなっていると教師が認識しているかを語る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p>自分の役割は、いやでも果たさなければ、集団が成り立たない。また、自分の役割を果たす時には、工夫して楽しく取り組むほうがよい。そうすれば、もっとがんばろうという気持ちがわく。</p> </div> | 10 |
| | | <p>3 教師の話聞きながら、自分の役割を果たしたときの経験を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕方なく引き受けたが、やりとげた応援団。 ・運動会の準備や後片付け。 ・朝早くても、がんばってできた空き缶回収。 ・苦手なことを練習して、みんなの力で優勝した大なわ。 ・計画集会委員会で、自分たちで考えた「あいさつ運動」。 | <p>○ 自分たちにも集団のために責任を持って役割を果たした経験や、やっているうちに楽しくなった経験、工夫して仕事のできた経験があることを思い出すことができるように、写真を提示しながら話す。</p> <p>◎ わたしメッセージ③’ その認識を児童に持ってもらおうとなぜ教師が思ったのかについて語る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p>どうせしなければいけないことだったら、やってよかったという気持ちを味わってほしい。自分がかんばることで成功につながったり、工夫することで仕事にやりがいを感じたりすることができる。これらをわかって、今後の生活に生かしてほしい。</p> </div> | 5 |
| 展開後段 | 終末 | <p>4 学習でわかったことを書き、発表する。</p> | <p>○ 能動的な聞き方で、児童の話聞く。</p> | 20 |
| | | <p>5 友達の発表を聞いて、さらにわかったことを書き、発表する。</p> | <p>○ 友達の考えを聞くことで、自分の考えを深めたり広げたりできるようにさせる。</p> | |